

個別目標2-1 | 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策2-1-2

快適な交通ネットワークをつくります



【10年後のめざす姿】

- 区民も、区外や外国からの来訪者も、内外へ円滑に移動できる都市まちになっています。

【10年後のめざす姿にどれだけ近づいたかを測るモノサシ(指標)と目標値】



モノサシ(指標)	現 状	25年度	30年度
区内の交通の便に満足している区民の割合(%)	73%	76%	80%
京浜急行線交差道路における渋滞の長さ(m)	390m	0m	0m

【現状と課題】

私たちの生活を支える交通基盤の現状は、平成20年現在、鉄道網が10路線41駅、バス路線網が76系統運行され、ほぼ区内全域に公共交通網が整備されています。平成20年7月に実施した大田区政に関する世論調査では、「通勤・買物等における交通の便について」は7割程度、「道路整備や交通の安全性において」は5割程度が満足しているという状況でした。

一方で、東西方向における鉄道相互間の連続性の確保や羽田空港再拡張に伴う交通需要拡大への対応、鉄道駅やバス停から離れた交通不便地域の解消や高齢者などが安心して利用できる交通基盤の整備などの課題が残されています。

踏切の影響による慢性的な交通渋滞を解消するための鉄道の立体化や、道路交通網を形成するための都市計画道路*の整備が進められています。これらの整備を推進し、広域的な交通ネットワーク整備に取り組むことが求められています。

【施策の体系】

枠で囲んである事業は、その主な取り組み内容を次ページ以降で紹介しています。

快適な交通ネットワークをつくります

基幹交通ネットワークの整備

京浜急行線連続立体交差事業の推進

新空港線「蒲蒲線」*の整備促進

都市計画道路の整備

エイトライナー及び新たな交通システムの整備検討

地域交通ネットワークの整備

バス交通網、停留所の整備支援

コミュニティバス*の導入検討、運行支援

駐車場の整備、利用促進

自転車駐車場の整備

京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備

道路及び公共交通システムの検討

踏切の現状



梅屋敷第4踏切(多摩堤通り)：平成21年2月現在

関連側道完成予想図



大森町駅付近

【施策の方向性と主な事業】

①基幹交通ネットワークの整備

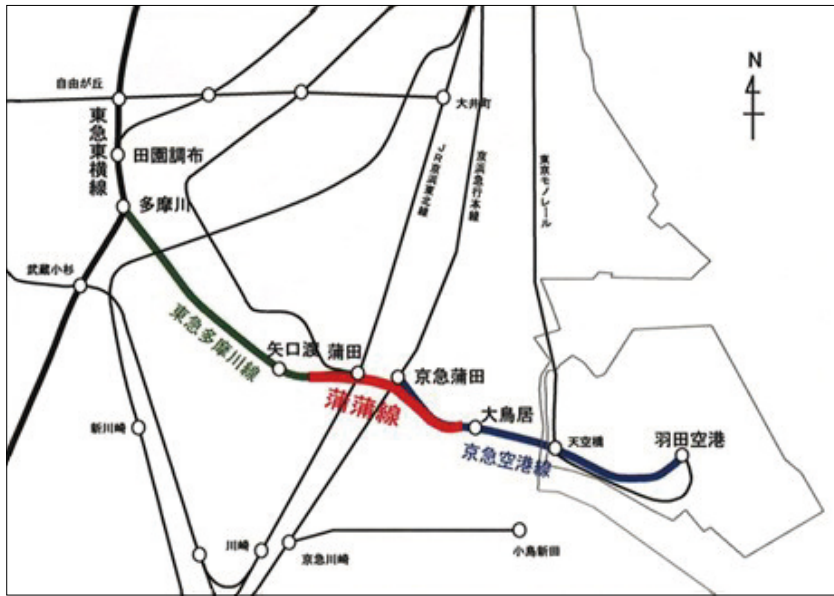
区内での移動における利便性の向上と、観光の視点も踏まえた羽田空港や周辺区市からのアクセス*向上のために、鉄道などの公共交通手段や都市計画道路*の整備を推進します。あわせて、京浜急行線における鉄道の立体化を着実に推進し、道路交通の円滑化を図ります。

計画事業名		京浜急行線連続立体交差事業の推進						
主な取組内容		京浜急行線の連続立体交差化により28箇所の踏切を除去し、交通渋滞の解消や、鉄道による地域分断の改善により、まちの活性化や魅力あるまちづくりを推進します。また、本線と空港線が分岐する京急蒲田駅の総合的な改善も行います。あわせて、高架下空間の利用、交差道路の整備についても具体化を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
鉄道高架化	用地取得		→					
	工事		→					
交差道路・側道整備工事					→			完了 (26年度)

計画事業名		新空港線「蒲蒲線」*の整備促進						
主な取組内容		区民の利便性向上と国際化する羽田空港へのアクセス機能を高めるため、JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ、新空港線「蒲蒲線」の整備を促進していきます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
整備事業化に向けた検討			→					
関係機関との協議、調整					→			継続
区民協議会と連携した促進活動			→					継続

計画事業名		都市計画道路の整備						
主な取組内容		主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区画街路第1号線	用地取得・整備	→ 継続						
補助44号線その2	用地取得・整備・測量	→ 残路線事業着手						
補助43号線	用地取得・測量	→ 残路線事業着手						

大田区内の鉄道路線と新空港線「蒲蒲線」



出典：「大田区東西鉄道「蒲蒲線」整備計画素案」

②地域交通ネットワークの整備

臨海部を含めた交通不便地域を解消するとともに、高齢者や障がい者などを含め誰もが気軽に外出できるように、地域交通網や交通結節点*の機能整備に取り組みます。

計画事業名	コミュニティバス*の導入検討、運行支援						
主な取組内容	区内交通不便地域を解消するため、地域が支えるコミュニティバスの導入を検討するとともに、運行を支援します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
試行運行・運行検証		→ 1地区					
運行支援			→				検証
導入検証結果を踏まえて運行計画の策定			→				検証

計画事業名	自転車駐車場の整備						
主な取組内容	自転車等駐車を整備し、緊急車両や歩行者などの通行の妨げになっている放置自転車をなくし、安全で安心な魅力あるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
8駅の自転車等利用実態調査を基に駐車場の検討、推進		→					
自転車等駐車場の整備検討		→					継続
(仮称)大森北一丁目開発による自転車等駐車場設置			→				
京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置			→				継続

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備						
主な取組内容	京浜急行線の連続立体交差に伴い、ゆとりある歩行者空間を持つ駅前広場やアクセス*道路等を整備し、京浜急行沿線の魅力あふれるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
用地取得		→					
アクセス道路等の整備		→					完了 (26年度)
京急蒲田駅東口駅前広場の整備						→	完了 (26年度)

